

ワークシート(本町で想定される課題の洗い出しと整理)

学校現場の課題

- ・平日と休日で指導者が異なる場合の対応で業務が増えないか
- ・文化部の活動はどうするのか
- ・練習試合を休日に組みたい場合はどうなるのか
- ・指導者と顧問のコミュニケーション機会の確保
- ・土日に試合を組めば見に行きたいが…
- ・部員数の減少による活動の制限

実現のための手法・アイデア出し

- ・休日の指導者の関係で、段階的に教員の参加を減らしてはどうか
- ・月一回、土曜日に部活動とは別物で文化スポーツ活動の機会を設けてはどうか
- ・2～3つの合同部活動なら、各校の担当者が週変わりに対応すれば負担が減るのではないかと
- ※ただし、その場に部活の指導員や外部指導者がいると、調整が難しくなったケースあり

指導者(外部含む)の課題

- ・指導者の人材不足のや確保の問題
- ・対応できる競技が限定
- ・指導者への謝金(財源確保、基準が不明)
- ・活動に携わる際のリスク・保険の対策
- ・勤務時間と指導時間との兼ね合い
- ・指導者に求められる資質や資格
- ・休日の指導方針(中学生が混乱する)
※平日の部活動との指導或いは活動方針の擦り合わせが必要
- ※ビジョン・目標・指導理念の設定
- ・時間、場所等の変更に係る学校との情報共有の手法(マチコミとか?)
- ・部活動の指導について関心が低い

実現のための手法・アイデア出し

- ・町内の人材バンクを作る必要がある
- ・例えばバイオリン美術館等、指導できる環境、指導者がいる団体から順次、協力を依頼してはどうか
- ・謝金や保険・補償についての指針を示してほしい

生徒・保護者の課題

- ・活動資金のつくり方
※全額保護者負担なのか町負担なのか
- ・施設利用料、指導者への指導料等の費用負担
- ・活動場所でのスポ少、体協等との使用時間の調整
- ・チーム競技の場合、他の町との合同練習をする時間、場所、指導者
- ・合同部活動の場合の移手段、会場
- ・土日の移手段がなければ参加できない?(町支援バスは利用可?)
- ・中体連の大会参加条件
※クラブチームも参加できる点

実現のための手法・アイデア出し

- ・休日の部活動を学校でしたいと思っている生徒が今現在でどのくらいいるのか
- ・目標が高い生徒はクラブチームへ行くだろうし、強いチームに憧れがあって、それをステータスと感じている生徒も多いことから、休日の部活動ニーズが少ないのであれば、休日の部活動は行わない

受皿候補団体の課題

- ・受皿団体の発掘・把握の手法
- ・受皿団体の選定方法(適正かどうかの判断基準)
- ・どの種目、競技が対応可能なのか不明
- ・休日の活動が部活動なのか否かの判断が曖昧(休日は部活動ではない?)
- ・生徒・保護者が希望する土日の活動と対応可能な受皿とのすり合わせをどうするのか?
- ・生徒の受入に係る経費負担の問題

実現のための手法・アイデア出し

- ・文化活動も含めて幅広く、受皿候補団体としての協力意向調査を実施
- ・受皿団体としての適性度の判断基準等の制度設計
- ・土日は地域活動という観点で、中学生が地域に出て様々な活動をしてはどうか
- ・受皿がない活動については、土日は活動しない方針とする
- ・休日は、学校の先生は関与せず、外部指導者にお願いする方針にする
- ・受皿団体についても、いわゆる活動の広がりが生れることになるので、そのための財政支援をする必要がある